



デジタル技術を活用して災害に備える 「小国町避難誘導実証」を実施

5月24日に叶水地区において、「小国町避難誘導実証」が行われました。

これは、地域防災において本町と連携協定を締結している東日本電信電話株式会社山形支店が主体となり、周辺住民の協力のもとで実施され、デジタルツールを活用した避難誘導や、避難所での安否確認などの実証実験が行われました。

その後、水源の郷交流館で避難所運営体験が行われ、段ボールベッドや簡易トイレの設営などを通し、あらためて防災意識の向上が図られました。



▲デジタルツールにより合流した避難者と支援者の避難の様子

小国中学校大運動会開催 春のグラウンドで熱い勝負を繰り広げる

5月30日に小国中学校大運動会が同校グラウンドにおいて開催されました。

生徒たちは赤組と青組に分かれ、優勝を目指して全員走やまり入れなどの競技や両組対抗の応援合戦で競いました。

プログラムの最終競技として行われた選拔リレーでは、各組の選抜メンバーが出場し、組の誇りを胸に全力でバトンをつないでいました。その様子を見た保護者や地域のかたからは拍手が送られ、大きな盛り上がりを見せていました。



▲選抜リレーで全員でバトンをつなぐ

小国町消防演習・消防庁長官表彰 長年の消防活動への感謝が伝えられる

6月1日、小国町消防演習が行われ、総合センターへの放水を想定した火災防ぎょ訓練や今年10月に全国女性消防操法大会に出場する小国町女性消防団の操法訓練が披露されました。

また、各表彰の伝達では、消防庁長官表彰として長年の功労が認められて永年勤続功労章に第5分団長の須貝篤志さん（尻無沢）と第1分団部長の伊藤幸雄さん（小国小坂町）が受章されました。（階級は、受章時点のものです。）



第5分団長 須貝篤志氏（永年勤続功労章・左から2人目）
第1分団部長 伊藤幸雄氏（永年勤続功労章・左から4人目）

「たまがわ春の山菜祭り」開催 10年ぶりの復活に地域がにぎわう

玉川自治会が主催する「たまがわ春の山菜祭り」が6月1日に旧玉川小中学校で開催されました。

山菜祭りは様々な事情により近年開催されていませんでしたが、玉川自治会や大学生などが中心となり開催準備を進め、今回10年ぶりに復活しました。

当日は、地域で採れたわらびやゼンマイなどの山菜の直売や、わらび汁や山菜ピザなど飲食物の提供も行われ、訪れたかたは山菜を購入したり、食事を味わったり、復活した祭りを楽しんでいました。



▲小国町森林組合による伐採作業を見学

小国小学校5年生白い森づくり体験事業 「白い森おぐに」を間近で感じる

6月4日に白い森づくり体験事業の一環として、小国小学校5年生39人が、町民の森において、木の伐採作業見学と、しいたけの菌をホダ木へ打ち込む駒打ち体験を行いました。

伐採作業見学では、小国町森林組合のかたが伐採を行うと児童からは驚きの声や拍手が上がりました。駒打ち体験では、かなづちを上手に使いながらしいたけの菌を打ち込みました。その後、置賜森林管理署のかたから森林の機能や役割、森林整備の必要性についての講話が行われ、児童たちは森林の重要性をあらためて認識していました。

人や環境にやさしい選択を 「つむぐマルシェ」が開催

おぐに移住者コミュニティつむぐが主催する「つむぐマルシェ」が6月7日、ショッピングセンターアスモ西側駐車場を中心に行われました。

今年で5回目を迎えた本イベントは、人や環境にやさしい選択をする「エシカル」をテーマに、SDGsへの理解をより深めることを目的として開催されました。

マルシェでは飲食の提供をはじめ、アクセサリなどの販売やワークショップ、ステージパフォーマンスも行われ、会場は大きなにぎわいを見せていました。



▲フラダンスクラブ「Hālau Hula Ō Pualehua」によるステージ